

令和6年度第1回新津第五圏域支え合いのしくみづくり会議 まとめ

【日 時】 令和6年6月3日（月）10:00～11:30

【会 場】 新津地域学園 研修室 306

【出席者】

満日コミ協:小池事務局次長、新津東部コミ協:馬場福祉健康部委員、阿賀浦コミ協:坂口社会福祉部員
新関コミ協:松屋福祉健康部部長、新津東部地区民児協:小林会長、新津阿賀地区民児協:山田副会長
老人クラブ新関地区協議会:堤会長、NPO 法人たか坪の会:上杉副理事長、包括にいつ日宝町:遠藤所長
秋葉区健康福祉課高齢介護担当:林副主査、今井係長（行政担当者）
秋葉区社協:横山事務局長補佐(事務局)、熨斗地区担当、米山地区担当、小林

1 今年度の取り組みについて

テーマ ゴミ出しの取り組みについて

課題・現状

【ふれあい福祉サービス】

- ・見守りを含むサービスであるが、利用者にとっては、耳が遠い、返事の声が届かない等、利用につながらないことがある。
- ・サービスの見守り、声掛けについて定義を変えることはできないか。

【介護サービスの支援】

- ・ヘルパー利用日とゴミ出し日が合わない。
- ・介護サービスだけではゴミ出し支援について限界がある。

【包括圏域ケア会議】

- ・自治会で早朝ゴミ出しの方がいるなど分かるシールの作成を検討してほしいという意見もあったため、ぜひ検討していただきたい。
- ・高齢化が進み、公的なサービス等の利用だけでは難しいため、自治会や法人のしくみづくりが求められる。

【たか坪】

- ・資源ごみだけお願いしたい等あり、大きいゴミを出すことが大変になってきている世帯がいる
- ・多い時で5件あったが、亡くなった方もいるため、現在2件。
- ・茶の間で情報を聞き、ゴミ出しが大変な世帯については活動につなげている。

【飯柳地区】

- ・友愛訪問で男性1名、女性4名困っている。ゴミ出しの希望は聞かれるが、困っているが何とか自分でしている、子どもに手伝ってもらっている等声が上がっている。
- ・家の中で動けず這っている状態の人もある（外に出られない、ゴミ出しも出来ない）
- ・ゴミ出しが出来ないと聞くと、支援するべきか、自力で出来る方法もあるのではないかとどのように支援をしていくか考える必要がある。判断に迷うこともある。

【金沢町4丁目】

- ・自分で出したい方もいる。ただし、冬季・体調不良の時に利用したい方がいる。
- ・認知症かは不明だが、ゴミの分別に迷う人がいる。

【満日地区】

- ・近所の方が放置されたゴミの対応について、民生委員に相談が寄せられる。

- ・カートに入れてゴミ出しをしている方もいる。
- ・個人の性格や考えが違うため、対応も違う。
- ・サービスとしてお金が発生することに抵抗があり、助け合う中で野菜をあげたりする関係もある。
- ・一人暮らし男性、高齢者男性はゴミ屋敷になりがちである。ゴミ屋敷に近い方もいるが、近所付き合いはある。
- ・一人暮らしの人はできるだけ自分でしたいと思っている人もいる。
- ・遠慮深く、自分からは声を発しない地域。声かけ訪問の中で困りごとを確認している。

【新関地区】

- ・高速道路脇に空き缶のゴミが多く、以前区役所に相談し、無料で対策してくれた。今ではゴミは少ない。
- ・小口地域では、冬場の道が狭いことで、ゴミを出すことが困難な様子がある。山の上に90世帯住んでいる。

【大安寺地区】

- ・ゴミを玄関に出し、牛乳屋に持って行ってもらうなど事例がある。
- ・自分でできるゴミ出しを支援してしまうと、外に出なく、ひきこもりになってしまう可能性がある。
- ・空き家のゴミに介入できず、難しい。

どのような取り組みが考えられるか

【小地域】

- ・自分でゴミ出しができるようになる方法があるとよい。
- ・自立に前向きな人への支援があれば、本人も助かると思う。
- ・隣組、自治会・町内会と連携し、支援ができるか。隣組が地域の状況をよく知っている。
→前日にゴミ出しの許可を得る、町内会でのしくみを作るなど。
ゴミ出し支援の話を自治会・町内会でできるとよい。
見守りを隣組でできるとよい。
- ・自分から声をあげない人に対し、地域の見守りの中で、併せてゴミ出し支援につなげられるか。
- ・ゴミ出しは本人にとって見せたくない部分であるため、規定のスペースに置くことで対応できるか。

【たか坪】

- ・町内会と相談し、前日の16時に出させてもらっている。
- ・最初はボランティアと一緒にいき、関係を作る。
- ・本人に寄り添い、何を希望しているか、背景等を確認することが大切である。

【その他】

- ・地域の法人と連携して何か支援ができないか。
- ・自分でゴミ出しができるようになった事例があれば、共有して地域活動に活かしたい。
- ・本人の意思を尊重できるとよい。
- ・見守りと併せて、認知症の方への声かけができるとよい。